



第10回上田八木・金融政策サーベイ(2017年3月)の結果について

～3月のMPM予想は全回答者が政策変更なしの見方。各金利予想DIは昨年12月以来3回連続して概ね同水準(金利上昇の見方は不変)。

2017年3月14日(火)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 全回答者(190先、100%)が3月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 各金利予想DIは昨年12月以来3回連続して概ね同水準(金利上昇の見方は不変)。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年以上3年未満」の見方が64%と前回(58%)より増加。1年未満との回答と足した3年未満との回答比率合計は過去3回で増加している。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(199先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2017年3月9日～13日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	95.4% (回答者数190先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

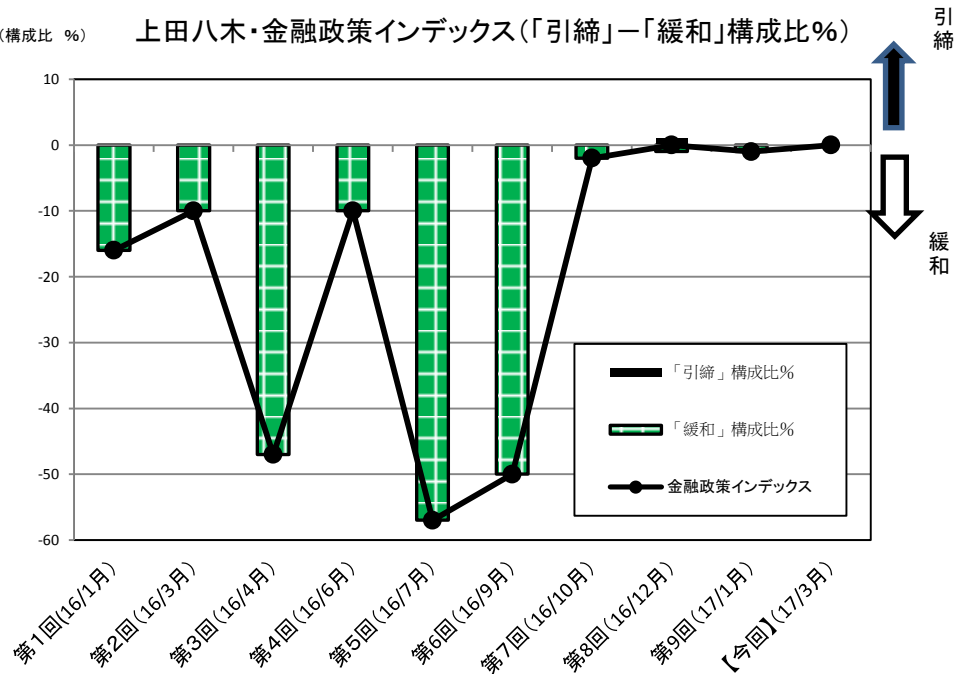
(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(3月15日～3月16日)における決定について

全回答者が「不変」の見方。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、0(前回は▲1)だった。

前回(1月調査)との比較では、「緩和」とみる先は▲1%ポイント(前回1%→今回0%)。「不変」とみる先が+1%ポイント(前回99%→今回100%)。「引締」とみる先が前回と同じ(前回0%→今回0%)。

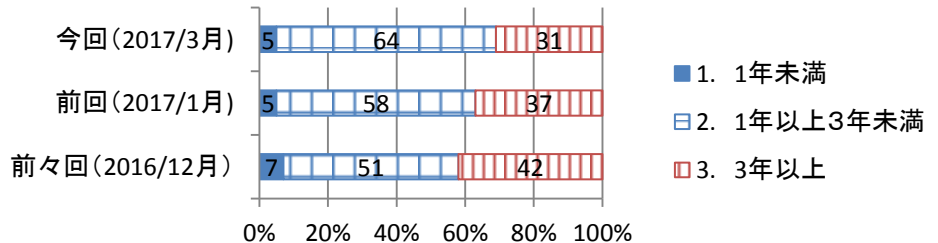
(構成比 %) 上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)



(ご参考)

【今回3回目となる追加質問: Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

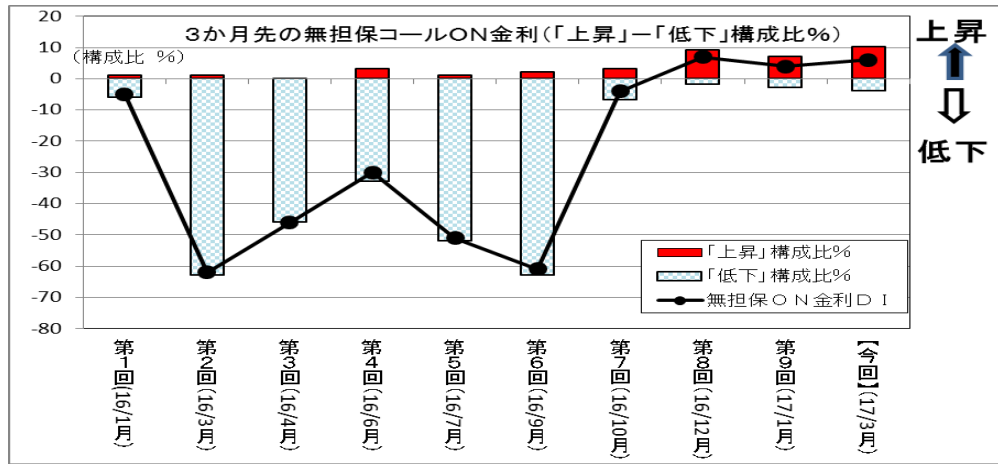
出口開始時期3年未満の比率が増えている。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の86%が「不変」と予想。4%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は10%だった。

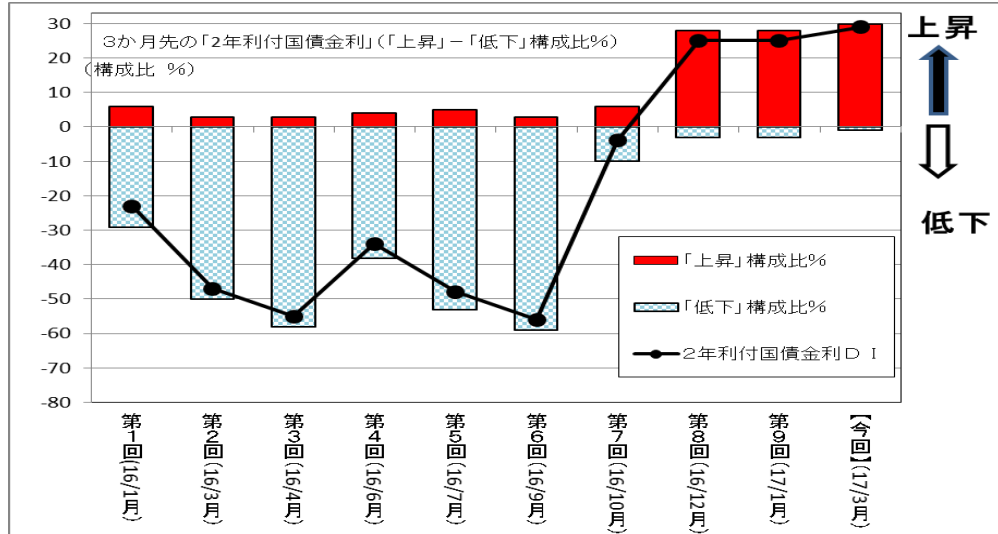
前回との比較では、「低下」とみる先は+1%ポイント(前回3%→今回4%)。「不変」とみる先が▲4%ポイント(前回90%→今回86%)。「上昇」とみる先が+3%ポイント(前回7%→今回10%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の69%が「不変」を予想。1%が「低下」。「上昇」を予想した先は30%であった。DIは過去最大の+29だった。

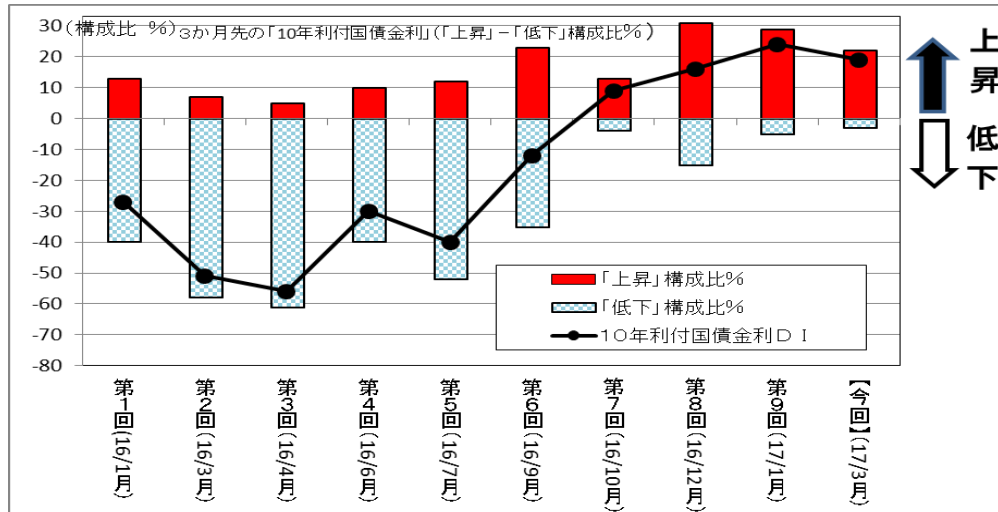
前回との比較では、「低下」とみる先は▲2%ポイント(前回3%→今回1%)。「不変」とみる先が前回と同じ(前回69%→今回69%)。「上昇」とみる先が+2%ポイント(前回28%→今回30%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の75%が「不変」を予想。3%が「低下」。「上昇」を予想した先は22%。

前回との比較では、「低下」とみる先が▲2%ポイント(前回5%→今回3%)。「不変」とみる先は+9%ポイント(前回66%→今回75%)。「上昇」とみる先は▲7%ポイント(前回29%→今回22%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)